

V74a **ALMA コミッショニング：CSV 活動全体の報告**

立原研悟（JAO/国立天文台）ほか JAO CSV チーム、ARC CSV サポートチーム

合同 ALMA 観測所（JAO）では、2011 年 3 月 31 日に初めての Call for Proposal をアナウンスし、10 月からの cycle 0 観測の開始に向けて、科学的評価試験（Commissioning and Science Verification; CSV）活動が進められている。3 台のアンテナで phase closure を達成した後、2010 年 1 月に始まった CSV 活動は、その後 1 年半の間に様々な観測や測定を行い、2011 年 6 月 20 日現在、15 台のアンテナで実際の Early science 観測に近い条件での試験が続いている。各地から集まった CSV チームのメンバーは、それぞれ Calibration, Antenna, System, Correlator, Imaging, Observing Modes, Documentation のグループに所属し、これらの観点からシステムの現在の性能をチェックし問題点・改善点を洗い出して、総合性能の向上を目指して活動している。さらに観測者がプロポーザル提出前に実際の観測データを使って自身で ALMA の性能を確認できるように、2011 年 1 月からの公募で選ばれたターゲットに対し、Scientific Verification 観測を行ってきた。その第 1 弾として、NGC 3256 (Band 3) と TW Hya (Band 7) のデータが、各 ARC の science portal site から公開された。これまでの CSV 活動全体の成果と、最新の進捗を報告する。

（各々のグループの状況については、本年会の立原ほか、小麦ほか、松下ほか、森田ほか、鎌崎ほか、杉本ほか、樋口ほかの講演を参照）。